

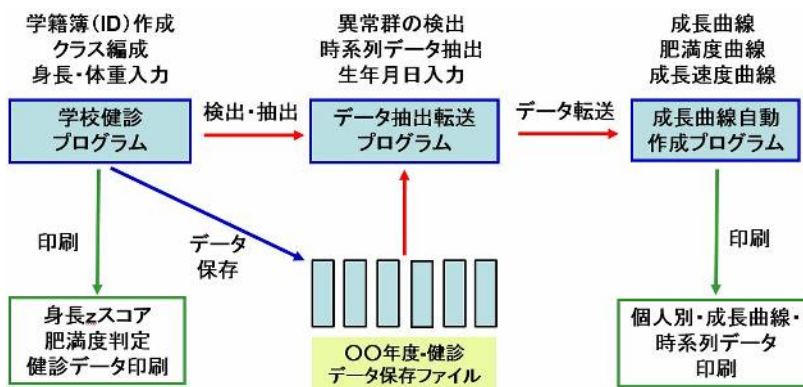
データ抽出転送プログラム 取扱説明書

エクセルの準備

ソフトを起動する前に、エクセルの「マクロの設定」を無効から有効に変更します。メニューバーの「開発」-「マクロのセキュリティ」を選択し、「すべてのマクロを有効にする」にチェックを入れてください。

I. 目的

学校健診用ソフトのうち、成長異常群の検出と、データ抽出・転送を行うためのプログラムです。学校健診用ソフトの概略を、以下の図に示します。



II. 操作

プログラムは3つで、1つのフォルダに入れます。

フォルダ名は、例えば、「健診ソフト〇〇」とします（〇〇は西暦年です）。

3つのプログラムとは、「学校健診プログラム〇〇」、「データ抽出転送プログラム〇〇」、「成長曲線自動作成プログラム〇〇」です。以下の説明では、〇〇は省略することがあります。

他に、「学校健診プログラム〇〇」のデータを保存すると、「〇〇年度-健診データ保存」ファイルができます。「〇〇年度-健診データ保存」ファイルは、1～6年分を同じフォルダに入れます。

起動方法

- 1) エクセルメニューの「ファイル」をクリックします。
- 2) 「健診ソフト〇〇」のフォルダにある「データ抽出転送プログラム」を選び、起動します。

ソフトを起動すると初画面が表示されます。

	A	B	C	D
1	初画面			
2	異常群(異常者) 検出プログラム			
3				
4	対象ファイル			
5	〇〇年度-健診データ保存 単一または複数ファイル検索		学校検診プログラム〇〇 単一ファイル検索	
6	低身長群 -2SD以下	「健診データ保存」 から異常群検出へ	学校健診プログラム から異常群検出へ	
7	ヤセ・肥満群 肥満度-20%以上 または20%以上			
8	成長異常群 腫瘍・内分泌疾患?			
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15	時系列データ 抽出・転送プログラム			
16				
17	対象ファイル			
18	〇〇年度-健診データ保存 単一または複数ファイル検索		学校検診プログラム〇〇 単一ファイル検索	
19	個人の時系列データ	「データ抽出・転送」シートへ		
20				
21				
22	生年月日・補助表	「生年月日」シートへ		
23				
24				

初画面に示すように、異常群検出と時系列データ抽出・転送が主な役目です。

初画面の下方に、「サンプルデータ」ボタンがあります。

脳腫瘍・内分泌疾患の患者の成長データから、成長曲線を描出します。

30	患者データ	「サンプルデータ」へ
31	脳腫瘍・内分泌疾患	

「サンプルデータ」ボタンをクリックすると、以下の「成長曲線サンプルデータ」に移動します。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
1	成長曲線サンプルデータ																						
2	初画面へ		http://www.gakkohoken.jp/column/archives/83										許可を得て転載		ひとりひとりに成長曲線を描こう Vol.1-5 たなか成長クリニック院長・成長科学協会理事・日本成長学会理事長 田中 敏章								
3																							
4																							
5																							
6																							
7	サンプル1		サンプル2		サンプル3		サンプル4		サンプル5		サンプル6												
8	身長SD(MIN-MAX)		身長SD(MIN-MAX)		身長SD(MIN-MAX)		身長SD(MIN-MAX)		身長SD(MIN-MAX)		身長SD(MIN-MAX)												
9	必須入力項目 = ID番号		必須入力項目 = ID番号		必須入力項目 = ID番号		必須入力項目 = ID番号		必須入力項目 = ID番号		必須入力項目 = ID番号												
10	夜尿・脳腫瘍 = 氏名		下垂体低形成 = 氏名		脳腫瘍 = 氏名		甲状腺機能低下 = 氏名		下垂体腫瘍 = 氏名		= ID番号												
11	男 = 性別		男 = 性別		男 = 性別		女 = 性別		男 = 性別		= 性別												
12	1995/4/15 = 生年月日		1995/4/15 = 生年月日		1995/10/15 = 生年月日		1995/4/15 = 生年月日		1999/4/15 = 生年月日		= 生年月日												
13																							
14	計測日		計測日		計測日		計測日		計測日		計測日												
15	身長 cm		身長 cm		身長 cm		身長 cm		身長 cm		身長 cm												
16	体重 kg		体重 kg		体重 kg		体重 kg		体重 kg		体重 kg												
17	2002/4/22 116.8 21		1998/4/15 87 11.5		1998/10/22 89.5 16.5		2002/4/22 117 24		2003/4/15 99 18														
18	2002/10/15 119.3 21.8		1998/4/15 93.5 13		1998/10/15 95.5 20		2002/10/15 118 26.6		2004/4/15 105.5 19.2														
19	2003/4/15 121.7 23.2		2000/4/15 98.5 14.5		2000/10/15 105 24.2		2003/4/15 118.5 28.6		2005/4/15 109.2 23.8														
20	2003/10/22 124.4 24.8		2001/4/15 104.2 16.7		2001/10/15 117 30.5		2003/10/22 119.7 31.2		2005/10/15 110.2 27.5														
21	2004/4/15 125.4 26.1		2001/10/22 105.5 17.5		2002/4/15 122.2 34		2004/4/15 120 33.7		2006/4/15 112 30.8														
22	2004/10/25 127.8 28.5		2002/4/15 107.5 18.2		2002/10/22 127 38		2004/10/25 121 35		2006/8/15 112.4 35														
23	2005/4/18 129.2 29.4		2002/10/25 109 19.5		2003/1/18 129.5 43		2005/4/18 121.8 36.6																
24	2005/10/18 130.1 28.5		2003/4/18 110 19.5				2005/10/18 123 37.3																
25	2006/4/22 131.7 30.4		2003/8/18 110.7 20.2				2006/4/22 123.5 38.2																
26	2006/8/15 132.3 31.1																						
27	2007/2/6 133.4 31.4																						

サンプルデータは、ネット上 (<http://www.gakkohoken.jp/column/archives/83>) に掲載された、

「ひとりひとりに成長曲線を描こう Vol.1-5」(たなか成長クリニック院長・成長科学協会理事・日本成長学会理事長 田中敏章先生から許可を得て転載しています。

「サンプル1~6」ボタンをクリックすると、データが転送され、「成長曲線自動作成プログラム」に移動します。

前処理) 生年月日・補助表に生年月日を入力

データ抽出・転送して「成長曲線自動作成プログラム」で成長曲線を描出するには、生年月日が必要です。前処理として、「組編成と生年月日入力表」を用いて生年月日を入力します（「組編成と生年月日入力表一取扱説明書」参照）。

処理 A) 異常群検出プログラム

異常群検出プログラムの対象ファイルは、「学校健診プログラム」と6年分の「検診データ保存」ファイルです。異常群の内訳は、低身長群、ヤセ・肥満群、成長異常群です。

初画面の、「学校健診プログラムから異常群検出へ」ボタン、または「検診データ保存」から異常群検出へ」ボタンをクリックして、異常群検出プログラムに移動します。

○「学校健診プログラムから異常群検出へ」ボタンをクリックすると、以下のシートに移動します。

学校健診プログラム選択		身長SDの異常		肥満度の異常		成長速度SDの異常		身長SD差		最終選択IDから		「データ抽出・転送」シートへ	
ファイル名: 学校健診プログラム2007.xls 検索ボタン: ファイル 初画面へ 異常者検出 検索対象健診期間: 春, 秋, 全(春・秋) 異常者検出条件: 抽出対象, 基準値 低身長SD(初期値-2.0以下): -2 肥満度(初期値+30%以上): 30 肥満度(初期値-20%以下): -20 成長速度SD(初期値-4.0以下): -4 成長速度SD(初期値+4.0以上): 4 注)抽出対象を変更する場合、基準値を変更します。 「データクリア」をクリックすると初期値に戻ります。 シートトップへ 「データ抽出・転送」シートへ 注)カーソルを、転送したID番号のセルに置くと、データ転送先に、ID番号が自動で入力されます。 入力間違いへ 最終選択ID: 12008, 岩瀬 銀之助, 男, 2005/12/2		ID, 名前, 性別, 身長SD 12009 大内 巖枝 女 -2.2 13018 小森 哲昭 男 -2.1 13050 宮川 火呂絵 女 -2.0 15014 笠原 真志 男 -2.1 15054 村瀬 遼 女 -2.0 15055 村松 水泉 男 -2.2 19060 米田 通 男 -2.4 16003 市川 麻里子 女 -2.1 17045 堀川 輝政 男 -2.4		ID, 名前, 性別, 肥満度% 12012 大田 角太郎 男 43% 12014 尾崎 信好 男 35% 12018 菅 俊憲 男 54% 12024 沢田 麻里子 女 58% 12030 大塚 雅晴 男 60% 12032 武藤 美緒 女 48% 12047 高川 美紀 女 -20% 13005 今井 勤 男 53% 13019 小森 昭子 女 -21% 13029 土屋 雪男 男 -24% 13053 村瀬 永幸 男 -21% 14009 内海 和好 男 32% 14025 菅野 留彦 男 -20% 14040 出口 なつみ 女 -21% 14048 平山 千治 男 -20% 14052 藤村 清重 男 44% 16001 荒木 隆哉 男 41% 16029 田島 孝秀 男 -21% 17048 松田 絵梨 女 33%		ID, 名前, 性別, 成長速度SD 12008 岩瀬 銀之助 男 8.1 1 12009 大内 巖枝 女 -5.1 2 12011 大島 雄浩 男 6.8 3 12015 片岡 孝次 男 5.3 4 12022 堤玉 悠里 女 -4.3 5 12038 中野 富良 男 -4.2 6 13001 青木 文吾 男 4.5 7 13005 今井 勤 男 5.5 8 13032 中村 宏樹 男 5.9 9 13059 吉本 昭博 男 6.2 10 14014 甲斐 初 男 4.2 11 14031 大塚 麻樹 女 7.1 12 14035 谷 悠里 女 5.0 13 15029 小柳 敬夫 男 9.4 14 15022 子瀬 健 男 0.58 12022 岩瀬 銀之助 12009 大内 巖枝 12010 大内 巖孝 12011 大島 雄浩 12012 大田 角太郎 12013 岡崎 竜男 12014 尾崎 信好 12015 片岡 孝次 12016 片桐 朗夫 12017 河村 浩吉 12018 菅 俊憲 12019 金根 孝子 12020 栗田 孝栄子 12021 吉野 尚平 12022 堤玉 悠里 12023 #N/A 12024 沢田 麻里子 12025 沢田 吾香 12026 白川 敏江 12027 杉浦 信春 12028 須藤 利人 12029 角田 玄樹 12030 大塚 雅晴 12031 田上 麗弘 12032 高松 有 12033 武藤 美緒 12034 多田 智子 12035 堤 耕介 12036 豊田 早苗子 12037 長岡 達太郎 12038 中野 富良 12039 中村 重文 12040 野中 直紀 12041 坂崎 利浩							

「学校健診プログラム選択」枠に、今年度分の「学校健診プログラム〇〇」を指定します。検索対象の健診期間が「春・秋・全(春・秋)」から選択できます。また、「検索対象とその基準値」が設定できます。

「異常者検出」ボタンをクリックすると、ID番号と名前・性別・異常値が列挙されます。

異常者の検出基準は、「低身長SD(初期値-2.0以下)・病的肥満「肥満度(初期値+30%以上)」、ヤセ「肥満度(初期値-20%以下)」、「成長速度SD(初期値-4.0以下)」、「成長速度SD(初期値+4.0以上)」です。

成長速度SDについては、「成長曲線自動作成プログラム」で詳述します。成長速度SDと「身長SD差」との間には非常に強い相関があり、私たちの求めた回帰式は、

データ抽出転送プログラム 取扱説明書

「身長 SD 差=0.076×成長速度 SD-0.032」、相関係数 r =0.911、寄与率 83.0%、でした。

抽出対象を変更する場合、基準値を変更します。

“データクリア”をクリックすると初期値に戻ります。

最終選択 ID を左下に表示し、右側縦列に最終選択 ID から ID 番号・氏名を連番で作成しています。

○ 「「検診データ保存」から異常群検出へ」 ボタンをクリックすると、以下のシートに移動します。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
					身長SDの異常		基準値		肥満度の異常		基準値		成長速度SDの異常		基準値						身長SD差		最終選択IDから	
					低身長SD(初期値-2以下)		-2.0		肥満度(初期値+30%以上)		30%		成長速度SD(初期値-4以下)		-4						身長SD差		最終選択IDから	
									肥満度(初期値-20%以下)		-20%		成長速度SD(初期値+4以上)		4						DWH-MAQ		ID連番作成	
																					子測値		連続ID	
																					最大変化		=最終選択ID	
																					0.29		12030	
																					0.21		12031	
																					0.46		12032	
																					-0.34		12033	
																					0.33		12034	
																					0.61		12035	
																					0.33		12036	
																					0.74		12037	
																					-0.35		12038	
																					-0.35		12039	
																					-0.34		12040	
																					0.43		12041	
																					-0.34		12042	
																					0.61		12043	
																					-0.42		12044	
																					0.41		12045	
																					0.64		12046	
																					-0.34		12047	
																					0.27		12048	
																					0.66		12049	
																					0.36		12050	
																					0.27		12051	
																					-0.34		12052	
																					0.52		12053	
																					0.34		12054	
																					-0.34		12055	
																					0.27		12056	
																					-0.42		12057	
																					0.39		12058	
																					0.67		12059	
																					0.37		12060	
																					-0.43		12061	
																					-0.41		12062	
																					0.28		12063	

「健診保存ファイル選択」枠に、1~6年分の「○○年度-健診保存」ファイルを選択します。

検索対象の健診期間が「春・秋・全(春夏秋冬)」から選択できます。

また、「検索対象とその基準値」が設定できます。

「異常者検出」ボタンをクリックすると、ID番号と名前・性別・異常値が列挙されます。

抽出対象を変更する場合、基準値を変更します。

“データクリア”をクリックすると初期値に戻ります。

最終選択 ID を左下に表示し、右側縦列に最終選択 ID から ID 番号・氏名を連番で作成しています。

注1) 「「データ抽出・転送」シートへ」ボタン

「データ抽出・転送」シートに移動します。

ID番号にカーソルを置いて、このボタンをクリックすると、「データ抽出・転送」シートのデータがクリアされ、ID番号が入力されます。

注2) 「「データ抽出・転送」シートへ 移動のみ」ボタン

「データ抽出・転送」シートに移動しますが、データのクリア・ID番号の入力はされません。

処理 B) 時系列データ抽出・転送プログラム

初画面の、「データ抽出・転送」シートへ」ボタンをクリックして、以下に示す、「データ抽出・転送」シートに移動します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
1		成長曲線作成データ抽出・転送											
2					初画面へ	2) 検索するファイルまたはプログラム名を選択							
3		成長曲線を自動作成します。											
4		健診保存ファイル選択 (最大6ファイルを設定)											
5		ファイル名 検索ボタン											
6	1)	学籍(ID)番号・性別・生年月日を入力				1	2016年度-健診データ保存.xlsx	ファイル1	選択ファイル名 クリア				
7						2		ファイル2					
8						3		ファイル3					
9						4		ファイル4					
10						5		ファイル5					
11						6		ファイル6					
12		必須入力項目				学校健診プログラム選択 (プログラムは1つのみ)							
13		12030 = ID番号				プログラム名 検索ボタン							
14		大城 雅義 = 氏名 (IDから検索入力)				学校健診プログラム2017.xlsx							
15		男 = 性別 (IDから検索入力)				ファイル							
16		2006/2/20 = 生年月日 (IDから検索入力)											
17		計測日	身長	体重									
18			cm	kg									
19		2016/4/15	138.4	46.7									
20		2016/9/15	140.1	51.9									
21		2017/1/15	141.7	55									
22		2017/4/15	143	59.2									
23		2017/9/15	146.7	64.2									
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													

3) 選択したファイルまたはプログラムからデータ抽出
右のボタンをクリックします。 時系列データ抽出

4) 成長曲線自動作成プログラムへデータ転送
右のボタンをクリックします。 成長曲線自動作成プログラムへデータ転送

5) データクリアまたは終了
右のボタンをクリックします。 データクリア 終了

初画面へ 成長曲線自動作成プログラムへ 「健診データ保存」から異常群検出へ 学校健診プログラムから異常群検出へ

- 1) 「健診保存ファイル選択」枠に、1～6年分の「〇〇年度-健診保存」ファイルを指定します。
- 2) 「学校健診プログラム選択」枠に、今年度分の「学校健診プログラム〇〇」を指定します。
- 3) 入力は、ID番号のみです。
異常群検出シートにある「データ抽出・転送」シートへ」ボタンを使うと、自動入力されます。
- 4) 「時系列データ抽出」ボタンをクリックします。
ID番号だけで、氏名・性別・生年月日・データ（計測日・身長・体重）が抽出されます。
「健診保存ファイル」1～6年分と、「学校健診プログラム〇〇」からデータが抽出され、自動で時系列に並べ替えされます。
- 5) 「成長曲線自動作成プログラムへデータ転送」ボタンをクリックします。
データが転送され、「成長曲線自動作成プログラム」に移動します。

注 1) 画面上にあるマクロボタンから、シート移動が簡単にできます。
注 2) 「時系列データ抽出」ボタンをクリックすると、「生年月日」シートに入力された生年月日データが、成長曲線作成プログラムに自動で抽出・転送されます。